

毎週火曜・金曜発行

復興ニュース

33号
2011年
7月22日

発行：気仙市民復興連絡会
大船渡市末崎町字石浜 34-1
<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp/>
Twitter @KesenShiminFR



一戸建て木造住宅

夢のある仮設住宅 モビリア仮設団地

陸前高田市小友町のオートキャンプ場モビリアキャンプサイトに建設した応急仮設住宅、戸数は168戸（建築中も含めて）です。

この仮設団地には、イオンモビリア出張販売所が開店し、食・衣・暮らしの品を販売している。入居者だけでなく、広田町方面からも買い物に来ていた。

また、広島お好み焼き「しんすけ」のオーナー星野さんは、東京で営業をしていたが、従業員に福島出身者がおったので、最初は福島で炊き出し、次に気仙沼市、陸前高田市、大船渡市と炊き出しに廻った。その中でも陸前高田市が一番衝撃的であったことから、いま、火・木はモビリア、土・日は朝市、その他の日は、陸前高田市内の仮設住宅まわりを行っている。

従業員も大船渡市から2名雇用するなど、被災者支援を積極的に行っている。私たちも鉄板焼きを（2人分700円）食べたがおいしかった。



家族で吉浜ピクニック

三鉄の「奇跡の車両」内でお弁当 参加者募集

三陸町越喜来の三陸まるごと体験館（熊谷満恵館長）は、津波後、まわりを気にしながら避難所

■ 日程

- 10:00 吉浜駅集合 ブルーベリー園へ
- 10:30 ブルーベリー摘み体験
- 11:30 吉浜駅に移動
- 12:00 三鉄車内で昼食
(三鉄汁サービス)
- 13:00 絵本読み聞かせとゲーム
- 14:00 ブルーベリーのクレープ作り
- 14:30 解散

生活して来た家族に、屋外で思いっきり楽しんで欲しい、気持ちを明るくして欲しいとの願いから、トンネル内から引き出した三陸鉄道の車両を使って、家族ピクニックを下記のとおり行う。車内では、当地へ支援に来てい

◆日時 平成23年7月23日(土)
午前10時00分

◆集合 三陸鉄道 吉浜駅

◆参加料 大人 1,500円・子供 1,000円 (小学生以下：乗車賃・ブルーベリー入園料)

◆持ち物 おにぎり、野外活動の服装 ◆申込先 熊谷満恵 (携帯 090 - 6253 - 2273)

主催：三陸まるごと体験館 協力：夢ネット大船渡・愛知ネット



陸前高田市社協が発行

毎月15日・30日発行予定として、第1号が7月15日に臨時号NO,1として発行しました。

内容を読むと、陸前高田市災害ボランティアセンターには、毎日500人近いボランティアが活動しています。全国からのさまざまな支援がつながり、将来の陸前高田に希望のバトンをつないでいます。この臨時情報紙「つないで陸高」は、市民の「ふだんのくらしのしあわせ」づくりにつながる情報を送ります。

「お茶っこ飲みの会」に来てけらいん！

◆竹駒小学校仮設住宅横仮設テント

毎日 10:00~15:00

◆細根沢町内会館

毎週火曜日 13:30~15:00 送迎あり

◆双六公民館

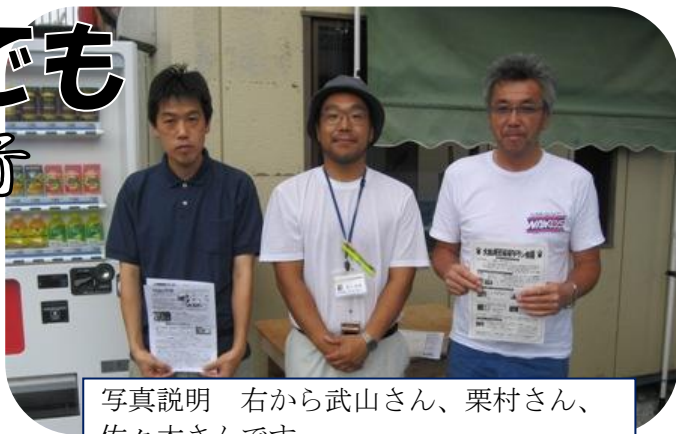
毎週木曜日 13:30~15:30 送迎あり

高田高校第2グラウンド仮設住宅・横田小学校・米崎雷神会館でも今後予定しております。

詳しくは、陸前高田市社会福祉協議会 担当：佐藤・安田まで TEL 080-2251-7327

大船渡北地域でも 情報紙を発行

大船渡町字新田に住む武山茂男さん(モトガレージタケヤマ)は、〇〇の店はどこへ行ったかね、とか、〇〇さんはどうしているかね等々尋ねられるので、友人の佐々木さん(タツヨシ)、本田さん(丸屋プリント)と相談し、「大船渡北地域タウン情報」を発行



写真説明 右から武山さん、栗村さん、佐々木さんです



することにした。

大船渡北地域とは、地ノ森・新田・赤沢・台・中央通り内の情報とし、第1号は7月1日付けで発行した。内容は、地元の方でたった一人で新田や赤沢を中心に泥上げ、片づけを行っている影の立役者、栗村さんと山本さんを紹介している。

お店オープン情報としては、①地の森の「マルワ商店」(タバコや)TELで注文受付、②「ニューシミズ」(ヘアースタylistサロン)台町で営業、③「モトガレージ・タケヤマ」(オートバイ・スクーター販売修理)大特価販売中、④「タツヨシ」(レジ袋・食品容器等)富沢で販売を再開した。

近況報告では、シティホテル山口さん、運動公園予定地の仮設住宅で生活。営業再開に向け奮闘中。

北地域のお店オープン情報、各種イベント情報を募集している。お気軽に連絡下さい。

連絡先は、モトガレージ・タケヤマ

TEL 090-3368-4776

木工工作体験開催

杉の家はこね

気仙杉の薫り立つ「杉の家はこね」において、「コーナーラック」作りを開催します。

開催日：23年7月30日・31日

開催場所：杉の家はこね

集合時間：午前の部 9:15集合

午後の部 13:15集合

参加定員 2日間で10名

参加料 1000円（木工室使用料・材料・加工代）

作業内容 組み立て、ネジ締め作業（製作時間約30分～1時間）

申込方法 直接「杉の家はこね」に申込下さい

Tel56-2153（午前9時～午後4時） ※水曜日は休館日



被災された市民活動団体へ 東芝パソコンを支援

株式会社東芝様から寄贈されたパソコン90台、その10台は被災された市民活動団体の事務局支援として利用していただくことにし、7月19日NPO法人けせん・まちの保健室へ、夢ネット大船渡の西村副理事長から同法人の事務局川原智子さんへ渡した。

川原さんは大船渡町野々田に住み、今回の津波で同法人の会計帳簿等書類一切を流している。頂いたパソコンは会の活動に大変役立つと喜んで受け取った。

同法人は、これまで介護の必要な方々の避難所運営やショッピングセンターサンリア内での血圧測定など健康相談や栄養相談等を行っている。

NPO 法人けせん・まち
の保健室へパソコンを渡



台風6号 避難船入港



超大型台風6号は、速度が極端に遅いため、四国九州地方に大きな被害をもたらした。日本列島から遠ざかった。

20日の大船渡湾には、貨物船が避難のため15隻ほど入港していた。

復興ニュース発行 折り方・仕分け作業



毎週火・金発行日の復興ニュース、朝中央公民館カメラアホールで印刷し、連絡会事務所で折る作業がある。第32号は1300部印刷したので、折り込み手配りなど毎回大変な作業です。

仮設住宅の知恵

中越地震の仮設経験者と語り合きましょう

陸前高田市小友町のモビリアセンターハウスでは、「めざせ復興一番乗り！」と記載した名刺の持ち主、モビリア仮設住宅支援協議会々長：蒲生哲さん。社団法人中越防災安全推進機構の地域防災力センター長：諸橋和行さんにお会いした。いろいろお話を聞き、多くの皆様に聴いて頂きたいので、近く「中越仮設体験から学ぶこと」についてお話を聞く会を開きたいと考えている。その機会にこの関係記事を記載することにし、今回は行事でけのお知らせとした。



モビリアのイオンの店舗

大勢の皆さんをお待ちしています

★場所 オートキャンプ場モビリアセンターハウス

◆日時 23年7月23日(土)

18:00 とちお同居会名物「あげアゲア揚げ」のふるまい。おからを使った創作料理、どんな食べ物かは、当日までのお楽しみ……

◆日時 23年7月24日(日)

9:00~10:00…中越地震・仮設生活体験談

仮設住宅で暮らした中で経験された苦労話や生活の知恵、仮設での人付き合いのヒントなどを……

10:00~11:00 お茶飲み交流会

お茶を飲みながらのおしゃべり

ご案内

新潟県中越地域は、2004年10月23日に発生した中越地震で大きな被害を受け、最長3年に渡る仮設住宅での避難生活を強いられました。

その際の仮設生活の経験を陸前高田市の皆さんにお伝えすることで、少しでも現在仮設住宅に入られている皆さんのお役に立てばと思い、中越の「とちお同居会」の皆さんより話を聞く会を企画しました。大勢の皆さんのお越しをお待ちしております。

主催：モビリア仮設住宅支援連絡会 (Tel.57-1020) ・国際復興支援チーム中越

協力：とちお同居会、東日本大震災ボランティアバックアップセンター

山岳会から支援物資

日本山岳会の仲間から支援の品々が届きました。千葉県市川市在住の石岡慎介さんを介して、大船渡市の西村幸雄氏(夢ネット大船渡副理事長)へ、段ボール3箱分の洗剤やティシュペーパーが届いた。近く仮設住宅等の被災者へ届ける予定です。

吉浜復興支援ホームページ開設

<http://www.kippin.jp/column/>

気仙市民復興連絡会では気仙地域における活動団体等の情報収集・発信を行っていきます。情報を発信したい等、相談等の窓口としてお気軽にご利用下さい。Tel.47-3271 (fax 兼) 広報活動のお手伝い(取材)も行わせて下さい、お気軽にご連絡下さい。この復興ニュースは、大船渡市中央公民館(カメラアホール)で印刷しました。

復興ニュース33号の編集発行の担当は岩城でした。

7月19日、知人からメールで、吉浜復興支援ホームページを開設したので訪問願うとの連絡を受けた。素晴らしいホームページです。ぜひ皆さんも訪問下さい。

